

【活動地域：カンボジア王国】

頑張らないバドミントン大会御中

プレア・プット村子どもたちへの基礎教育支援に対する提案書

平素より多大なるご支援を頂きまして誠にありがとうございます。NPO法人テラ・ルネッサンス（以降：「当会」と表記）は、カンボジアの北西部の地雷埋設地域であるバタンバン州カムリエン郡プレア・プット村での村落開発支援を実施しております。2014年にプレア・プット村に編入されたコミュニティは、山の麓に位置し、この山自体はまだ地雷撤去が終わっていません。この山は政府の土地で、山の麓の安全な土地に、最貧困層の村人たちが住んでいます。出稼ぎや日雇い労働しか収入源を持たない村人たちの子どもたちに、2015年から当会では基礎教育支援をしています。子どもたちが教育を受けるためには、彼らの親が村で収入を得られることも重要です。子どもたちが幼稚園の近くで遊べる遊具の建設と、先生へ支払う謝礼、そして村人たちが収入を得られるように家畜の購入をするためのご支援をお願いいたします。詳細は下記をご覧ください。

【テラ・ルネッサンス団体概要】

■団体名：特定非営利活動法人テラ・ルネッサンス

■概要：

「地雷」、「小型武器」、「子ども兵」という3つの課題に対して、現場での国際協力と同時に、国内での啓発・提言活動を行うことで、課題の解決を目指す国際協力団体です。

**【プロジェクト概要】**

■プロジェクト名：地雷埋設地域村落開発支援

■活動場所：バタンバン州カムリエン郡バン・レアン区プレア・プット村

■背景

プレア・プット村に2014年に編入されたコミュニティには、約30世帯が生活しており、当会では2015年に幼稚園を建設し、その後先生を派遣し、小学校低学年の授業を実施することで、子どもたちはようやく基礎教育を受けることができるようになりました。しかし、教育局への教員派遣の要請をしているものの、子どもたちの人数が40名以上に達しないことから（現在30名）、未だ派遣されてきていない状況で、当会から先生への謝礼を支払っています。

幼稚園の子どもたちは、まだ幼く、民家の近くには深い溜池があり、以前はそこで溺れて亡くなった子もいました。そのため、幼稚園の先生は、溜池の近くに行かないように、学校の近くで遊べる遊具（ブランコ）の設置を希望しています。



【2024年に起きた地雷事故】

2024年8月に幼稚園のすぐ裏の山の中腹で、幼稚園の目の前の家の村人が草を食べさせていた牛が、地雷を踏んで事故にありました。牛が地雷を踏んだのは、ちょうど村人が家に戻っていた時で、村人に怪我はありませんでした。ただ、毎日登っていた山で、牛が地雷を踏んだすぐ近くにも、まだ爆発していない地雷が見えていたとのことで、これまで地雷を踏まなかったのは運が良かったと言える状況でした。この牛の地雷事故は、村人たちにも衝撃を与え、地雷がまだ残っていることは知ってはいたものの、キャッサバを栽培したり、牛を放牧したりしていた村人たちも、これから登らないようにすると話していました。地雷撤去団体のCMACが牛の地雷事故の後に、調査にきて、まだ150個ぐらいは残っているのではないかということでした。



【子どもたちへの教育に必要な生計支援】

2017年から、当会ではヤギの家畜銀行を設立し、ヤギ飼育によって、村での収入を確保する世帯も出ています。一方で、村で生活が厳しい世帯も多く、日雇い労働の仕事がない時期には収入がないため、ヤギを全部売ってしまった世帯も出ています。子どもたちが教育を受けるためには、村で親たちが収入を確保する必要があります。そうでなければ、児童労働として、小学校の高学年になれば畑仕事で日当を稼ぎに行く子どもたちも実際にいます。そのため、希望する世帯へは、家畜の再貸し出しをする予定で、そのためのヤギなどの家畜の購入代が必要となっています。



【予算】 幼稚園遊具（ブランコ3基）200ドル、教員給料150ドルx3ヶ月x1名=450ドル、家畜購入代950ドル
合計1,600ドル≒238,784円(為替レート:US\$1=149.24円)

※上記日本円 24万円に対してのご支援をお願い申し上げます。

※詳細は、別紙予算書をご覧ください。

【お問い合わせ先】

認定NPO法人 テラ・ルネッサンス
〒600-8191 京都府京都市下京区五条高倉角塚町21番地
jimukinoueda bldg. 403号
TEL/FAX: 075-741-8786 E-mail: ezumi@terra-r.jp
担当: 江角・藤森